



# 病院紹介

## 医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院

〒151-0071 東京都渋谷区本町 3 - 53 - 3

TEL 03 - 5365 - 8500(代表) FAX 03 - 5365 - 8503

http://www.hatsudai-reha.or.jp



### ◎医療法人社団輝生会の基本理念◎

#### 「人間の尊厳」の保持

一人ひとりの尊厳が認められ、個人が輝いて生きていけるように人権を尊重します。

#### 「主体性・自己決定権」の尊重

患者さまの主体的なりハビリテーションを推進し、自己決定権を尊重します。

#### 「地域リハビリテーション」の推進

地域におけるリハビリテーションサービスの向上を推進します。

#### 「ノーマライゼーション」の実現

高齢者や障害者が健常者と共に暮らせる安全で豊かな社会の実現を目指します。

#### 「情報」の開示

院内情報を開示し、患者さま・ご家族の方々が納得できるサービスを提供します。

脳卒中、頭部外傷、脊髄損傷や骨折等に代表される傷病には適切なリハビリテーションが必須ですが、それには発症後、可能な限り早期に集中的なりハビリテーションを実施する必要があります。

初台リハビリテーション病院では急性期病院から発症後1ヶ月以内に受け入れ、入院や通院の方々に住み慣れた地域や自宅で輝いて生活していただくために、万全のリハビリテーション医療サービスを提供することを使命としております。

#### 標榜科目

リハビリテーション科・神経内科

#### 施設基準

総合リハビリテーション施設  
回復期リハビリテーション病棟

#### 療養床数

173床(個室53室・4人室30室)

#### スタッフ数

医師9名 理学療法士63名 作業療法士59名  
言語聴覚士17名 看護師102名  
ケアワーカー43名 ソーシャルワーカー9名  
健康運動指導士1名 他

#### 最新の医療機器設備

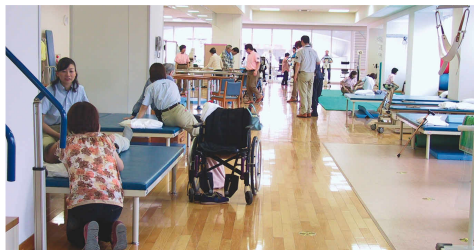
MRI(1.5テスラ) ヘリカルCT  
骨密度計 VF装置 等



#### 交通のご案内

京王新線初台駅東口より徒歩10分  
都営地下鉄大江戸線西新宿五丁目駅A2出口より徒歩9分  
京王帝都バス関東国際高校下車徒歩1分  
首都高速4号線初台インターより車で3分

病気や障害を克服し、再び『輝ける人生』を送っていただくために、従来のサービスを患者さまの立場で練り直し、実践中。

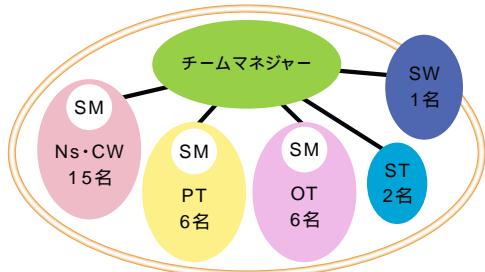


一般病棟時間帯別人員配置（平均値）

時間	5	10	15人
0:00 ~ 7:00	■		
7:00 ~ 8:30	■	■	
8:30 ~ 12:30	■	■	■
12:30 ~ 16:00	■	■	■
16:00 ~ 17:30	■	■	■
17:30 ~ 21:30	■	■	
21:30 ~ 24:00	■		

■ 夜勤      ■ 早出・遅出 (Ns・Cw)  
■ 日勤      ■ 早出・遅出 (OT・PT)

チームマネジャー制の具体例



### 365日のリハビリテーション提供体制

「365日のサービス提供は医療機関の基本」という原点から、入院の患者さまに対し理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリテーション医療サービスを毎日提供できる体制が生まれ実践されている。また、「病棟は患者さまの生活の場」と位置付けられ、ご家庭に復帰したときの生活をイメージした病棟生活におけるリハビリテーションサービスを重視しているのが特徴。

### 格差の無いケアスタッフの配置

同院では患者さまの能力を最大限活かせる環境を整えるためのスタッフ体制で臨んでいる。朝7:00～8:30と夕6:00～9:30にケアスタッフ2名・リハスタッフ2名を早出・遅出の勤務体制で配置する事で起床後朝食を摂取る間と夕食後就寝までの最もケアが集中する時間に日勤とほぼ同様のスタッフ数を確保し、きめの細かいモーニングケア・イブニングケアが行われている。また理学療法士・作業療法士はコール対応から排泄や入浴の介助など病棟でケアスタッフとして関わる事で訓練場面だけでなく、患者さまの時間帯による体調の変化や食事・入浴・排泄など実際の生活情報を確認し、ケア場面でのADLの底上げが図られている。

### 徹底したチームアプローチ

医師・看護師(Ns)・理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)・薬剤師・ソーシャルワーカー(SW)などケアに関わる全てのスタッフが病棟配属制の強力なチームアプローチが実践されている。具体的には45～48床の1病棟を2チームに分けそれぞれにチームマネジャー1名、サブマネジャー(SM)として看護師・理学療法士・作業療法士を各1名、サブマネジャー補佐としてケアワーカーを1名からなるチームマネジャー制を導入。また、電子カルテでの管理による情報の共有化や多職種間の交流をもとに、患者さま一人ひとりの最適なプログラムが検討されている。

### 安心・安全・安らぎを感じられる生活の場

同院内に入ると明るいゆったりとしたスペースが確保され、入った瞬間、アットホームな感覚になれる空間が演出されている。スタッフは白衣ではなくスタッフユニフォームを着用、スタッフのあいさつは徹底され、そこかしこで笑顔の会話が弾む。1階のラウンジでは喫茶サービスのほかに週に1度ピアノなどのコンサートが催される。病棟においても起床後のベッドカバー設置、食事は毎選択食(一部を除く)にし、各病棟毎の食堂で配膳、デイコーナーを設けるなど、訪問者をお客様として対応する視点でサービスが検討され提供されている。

### 現状と今後の試み

回復期リハビリテーション病院が東京都内に少なく、また、急性期から早い段階で回復期病院が受け入れられたとしても、病院から在宅に戻った際にサポートするサービスが充分ではない。同院では医療系と福祉系・通所系と訪問系などあらゆるサービスを集約することによって、総合的なサービスを提供できるのではないかと考え、系列機関として台東区と世田谷区にリハビリ機能を中核に据えた在宅ケア拠点を設け、地域リハビリテーションを实践、今後も随時拠点を増やし、小規模多機能・地域密着型で365日サービス提供できる在宅ケアのモデルとなるべく、新しいサービスを試行中である。

